

お使いの業務用エアコンの冷媒はR22冷媒ではありませんか？

R22冷媒 の実質全廃に備えて、
いまのうちに、**リニューアルを!**

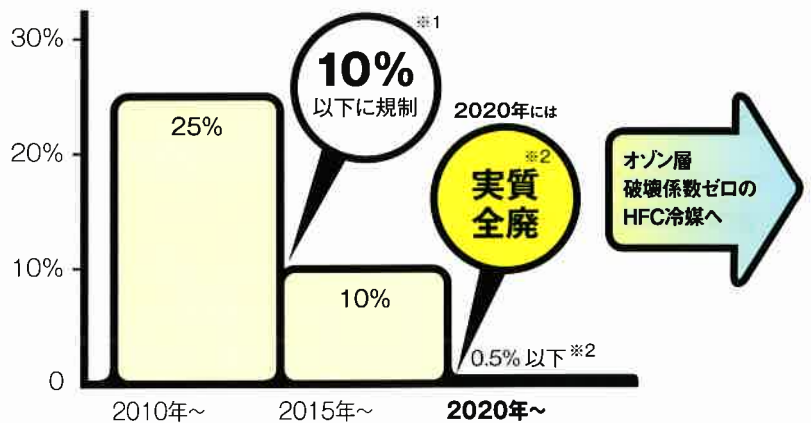


2000年頃の業務用エアコンの冷媒はHCFC (R22) が主流でした。

この冷媒にはオゾン層を破壊する性質があるため、これまで世界的な規模で生産・消費量の規制が進められ、いよいよ2020年には実質全廃となります。

一方、現在国内で販売されている業務用エアコンは、オゾン層破壊係数ゼロのHFC冷媒を採用しています。

モントリオール議定書に基づくHCFC (R22) の生産量および消費量の規制スケジュール (先進国)



※1 基準量(100%)は1989年実績値。

※2 ただし、2029年末までの間、冷凍空調機器の補充用冷媒に限り、生産量・消費量の基準値の0.5%を上限に生産・消費することができる。

(出典:環境省)

もしお使いの業務用エアコンがHCFC (R22)冷媒採用の場合は、

お早めに更新をご検討ください。

オゾン層を破壊する性質があるR22冷媒は入手が困難になってきており、急な故障時などに修理ができなくなる可能性があります。オゾン層破壊係数ゼロのHFC冷媒を採用している業務用エアコンへの更新をご検討ください。

[現在、日立が販売している、HFC冷媒採用の業務用エアコン代表例]

店舗・オフィス用エアコン



ビル用マルチエアコン



設備用パッケージエアコン



※配管はイメージ図



HCFC(R22)冷媒を採用していた日立業務用エアコン

下記型式の業務用エアコンは、HCFC(R22)冷媒を採用しています。



対象となる型式は、「RAS-」もしくは「RP-」の後ろが数字が「J」からはじまります。

店舗・オフィス用エアコン・ビル用マルチエアコンの室外ユニット型式

RAS-○○○○○

(例)RAS-45H / RAS-J40H / RAS-J280FSなど

RAS-J○○○○○

設備用パッケージエアコンの室内ユニット型式

RP-○○○○○

(例)RP-10RH / RP-J280H2など

RP-J○○○○○

※室内・外ユニット本体に貼られている仕様銘板に記載の「R22」も併せてご確認ください。

お使いのエアコンをご確認いただき、下記連絡先へご相談ください。

室内ユニット設置場所	部屋の広さ	室内ユニットタイプ	型式 (室内ユニットまたは 室外ユニット)	台数	メーカー	設置年度	使用年数
(例) 事務所	180 m ²	てんかせ4方向	RAS-J280FS1	1 台	日立	2001年	18年
	m ²			台		年	年
	m ²			台		年	年
	m ²			台		年	年
	m ²			台		年	年
	m ²			台		年	年
	m ²			台		年	年
	m ²			台		年	年

製造元 日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社

販売元 日立グローバルライフソリューションズ株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号

360°/ヒート
ひとりひとりに、うれしい暮らしを

●営業拠点

北海道地区 050-3142-0621	東北地区 (022)266-1321
関東地区 050-3154-3967	北陸地区 (076)429-4051
中部地区 050-3144-9820	近畿地区 050-3181-8201
中国地区 (082)240-6152	四国地区 (087)833-8701
九州地区 050-3142-0629	

信用と行きとどいたサービスの当社へ

■製品の色は印刷されたものですから実際の塗装色とは若干異なります。

このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

印刷：2019年3月／発行：2019年4月

SR-324S

Printed in Japan(DC)